

# 安全処置方法(事例)



©環境省

小型充電式電池

## 回収依頼時の安全処置方法

**安全処置事例** 短絡(ショート)による発熱・発火の恐れがありに被覆や固定をしてください。安全処置の詳細

**放電のお願い** 電池を機器に装着し極力電池切れになるまで

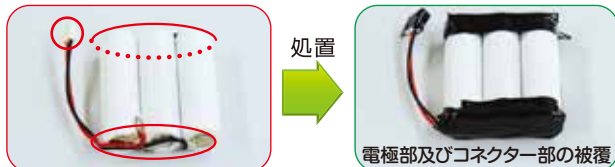
まずので絶縁用ビニールテープ\*で金属部分が露出しないようは次ページ以降(P31~P38)を参照ください。

放電してください。

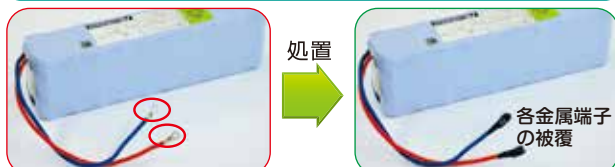
リード線切断部の露出



電極部及びコネクター部の露出



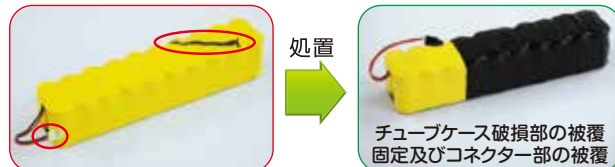
電極端子の露出



端子部の露出



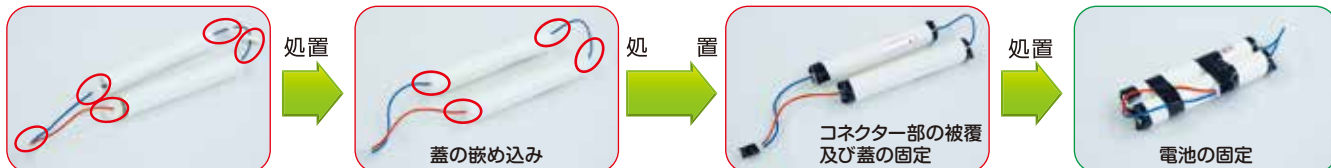
チューブケースの破損及びコネクター部の露出



コネクター部、金属部及びヒューズ部の露出



電池パックの蓋外れ/コネクター部の露出



端子部の露出



電池全体をテープで覆った過剰な絶縁処置の状態では電池種が不明でリサイクルできの種類の種類やメーカー名が確

認できません。金属端子部のみ絶縁し電池認できるようにしてください

※絶縁用ビニールテープ  
JIS C2336:2012種  
適合品を使用ください。



©環境省

# リサイクル回収依頼時の安全処置事例

## 安心・安全回収のために

- JBRCでは小型充電式電池の「安心・安全」なリサイクル・リード線や金属端子部分が露出したものは短絡により発熱、
- 絶縁処置の不十分な電池、不適切な梱包が確認された場合、注意文書の発行が続いた場合、回収依頼の受付を停止させ

**重大不具合発生処置** 発熱・発火に至る恐れや分解・解体等の重大な

回収を推進しています。  
発火の恐れがありますのでテープ等で必ず絶縁してください。  
注意文書でお知らせします。  
いただきます。

不具合が確認された「排出者」は回収サービスを停止いたします。

## 短絡起因箇所の絶縁処置

- 絶縁処置のビニールテープは、電気絶縁用ビニールテープか、規格;JIS C2336:2012 適合品

布製のガムテープをご使用ください。

### 両極端子部露出



### 電極端子部露出



### コネクター部露出



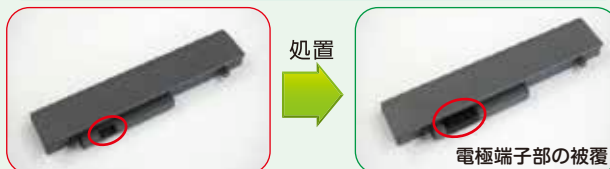
### コネクター部露出



### 電極端子部露出



### 電極端子部露出



©環境省

# リサイクル回収依頼時の安全処置事例

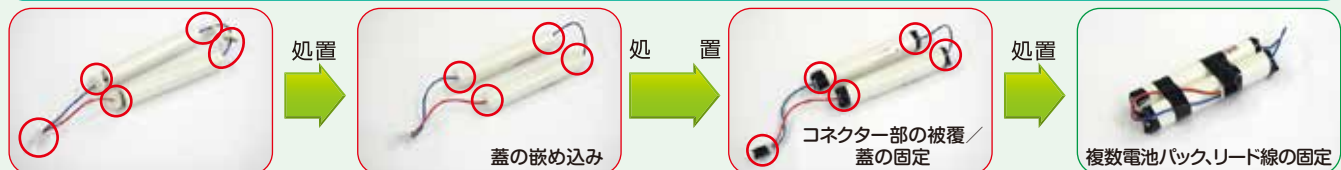
## 電極端子部露出



## コネクタ部露出



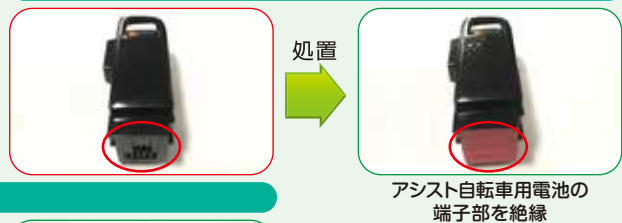
## コネクタ部露出／電池パック蓋外れ



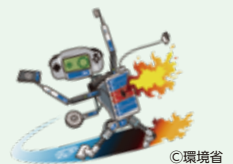
## 電極端子部露出



## アシスト自転車用電池の端子部露



## 電極端子部露出



©環境省

# リサイクル回収依頼時の安全処置事例

## コネクタ部／金属部／ヒューズ部の露出



電池を装着状態から取り出した場合は回収できません。

## 固定されていない電池パック／リード線切断部露出



## 過剰絶縁の禁止



電池全体をテープで覆った過剰な絶縁処置の状態では電池種類やメーカー名が不明でリサイクルすることができません。金属端子部のみ絶縁し電池の種類やメーカー名が確認できるようにしてください

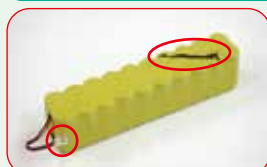
## リード線切断部露出



## 電池端子連結部／コネクタ部の露出



## チューブケース破損／コネクタ部露出



## 電池端子連結部当て板付／コネクタ部の露出



## 電池端子・端子連結部露出



## クリーナー用電池の端子部露出



## モバイルバッテリーの端子部絶縁



モバイルバッテリーの端子部露出

モバイルバッテリーの端子部の被覆

## コネクタ部の破損



コネクタ内でリード線同士が接触し短絡の可能性あり

コネクタを切り離しリード線の先端を絶縁／リード線は短絡防止のため1本ずつ切断



# リサイクル回収依頼時の安全処置事例

## 回収できない電池

### 分解電池



分解された電池は回収できません。  
製品の形体ではない電池は回収できません。

### 分解に近い状態



分解されている電池は回収できません

### ユーザーが製作した電池(実験、試作等)



ユーザーが製作した電池(実験、試作等)は回収できません

### 電池のソケット、ユニット(回収対象外)



ソケットやユニットは回収できません。  
ソケットやユニットは電池パックではありません。  
ソケットやユニットが電池にセットされている場合、電池から取り外してください。

機器から脱着可能な電池が回収対象です。  
電池を取り出した後の機器、ソケット、ユニットは回収対象外です。  
なお、機器に内蔵されている電池は回収対象外です。

### リチウムイオン電池の不安全事例

膨れや破損した電池パックは安全が確保できないため回収できません。

(例)電池の膨張や変形・破損した電池パック

※イメージ図



膨張した電池や変形・破損した電池は回収できません

リチウムイオンポリマー電池もリチウムイオン電池の一種で、回収対象(ただし、ハードケースに入った電池パック)となりますが、電池の膨張や変形・破損した電池パックは回収対象外となりますので、ご注意ください。

なお、ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池(パウチ型/ラミネート型)は安全面より回収対象外です(ハードケースとはプラスチック製や金属製の筐体、ケース)。輸送時、電池に外圧が加わった際、パウチ型/ラミネート型電池では変形等が発生し短絡・発熱に至る可能性がある為、安全面より回収対象外とします。

### 回収対象外の事例:ハードケースに収納されていないリチウムイオンポリマー電池(パウチ型/ラミネート型)



解体により取り出し